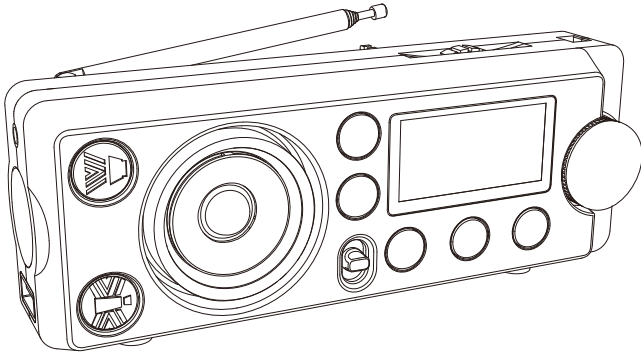


デジタルラジオライトチャージャー

取扱説明書



このたびは「デジタルラジオライトチャージャー」をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 警告

- 点灯中のLEDライトを直視しないでください。視力障害の原因となるおそれがあります。
- ラジオやサイレンは大きな音量で聴かないでください。聴力障害の原因となるおそれがあります。
- 本製品を分解、修理、改造しないでください。発火したり異常作動するおそれがあります。
- 内部に磁石を使用していますので、磁力の影響を受ける製品の近くでは使用しないでください。
- 防水仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れる恐れのある場所での使用は絶対におやめください。
- 乾電池は、古いものと新しいものを混ぜたり、アルカリ電池とマンガン電池を混ぜて使用しないでください。液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置すると、液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。
- 携帯時や保管中に、不用意にスイッチが押されてオンにならないようご注意ください。
- 水気のある所、高温多湿の場所、ホコリの多い場所、直射日光の当たる場所で保管しないでください。

※ケガや故障の原因になりますので、上記を必ずお守りいただいた上でご使用ください。

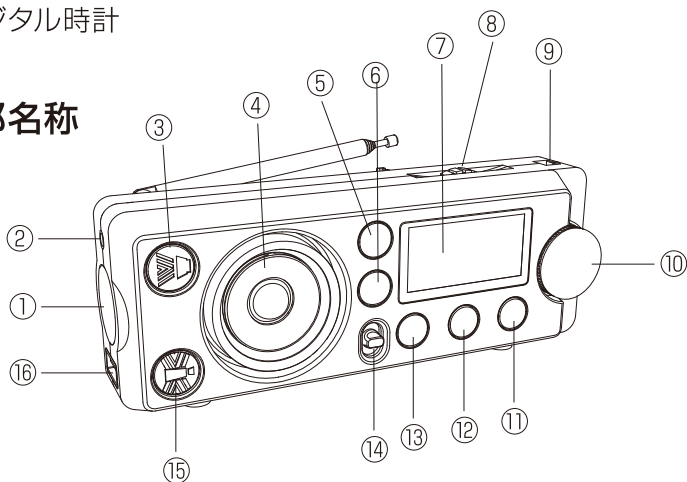
STP-652 デジタルラジオライトチャージャー 取扱説明書

も く じ	1
1. 基本機能	2
2. 各部名称	2
3. 付属品名称	3
4. 電 源	3
5. 乾電池の入れ方	4
6. バックライトディスプレイ(液晶画面)	5
7. 時計の合わせ方	5
8. LEDライトを使うには	6
簡易ランタンシェードについて	6
9. ラジオ(AM/FM/ワイドFM)を使うには	7
10. ラジオの周波数の登録	8
11. サイレンを使うには	9
12. イヤホンを使用するには	9
13. 携帯電話充電USBケーブルについて	10
14. 携帯電話を充電するには(プラグイン携帯電話充電機能)	11
乾電池(アルカリ電池)より携帯電話を充電する方法	11
◎マイクロUSBとType-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法	13
◎アイフォーンを充電する方法	14
ストラップホールについて	15
デスクスタンドについて	15
仕 様	16
保証規定	17
保 証 書	18

1. 基本機能

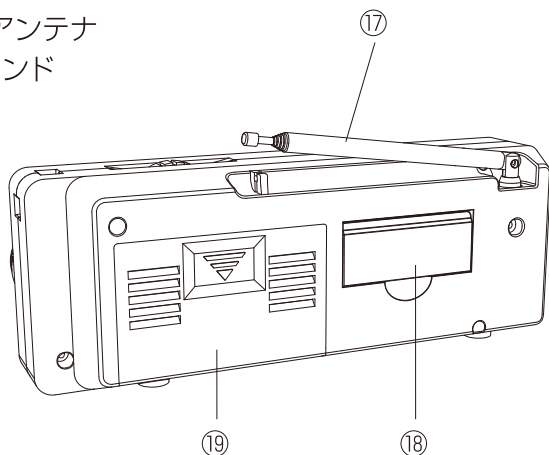
- LEDライト(白色LED1灯/強・中・弱)
- ラジオ(AM/FM/ワイドFM)
ATS機能(ラジオ局自動登録機能、手動受信)
- バックライトディスプレイ
- サイレン(点滅灯)
- ランタン(簡易ランタンシェード使用時)
- プラグイン携帯電話充電機能
- デジタル時計

2. 各部名称



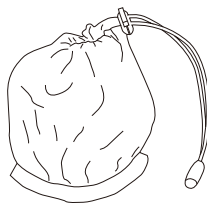
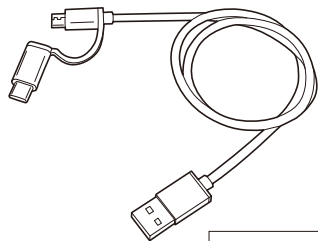
- | | |
|------------------------|------------------------|
| ① LEDライト | ⑨ ストラップホール |
| ② イヤホンジャック | ⑩ ラジオ/サイレン音量ダイヤル |
| ③ LEDライト ON/OFFスイッチ | ⑪ VCH- スイッチ |
| ④スピーカー | ⑫ ACH+ スイッチ |
| ⑤ ラジオ電源 ON/OFFスイッチ | ⑬ 時間設定/ATSスイッチ |
| ⑥ AM/FM切換スイッチ/スキャンスイッチ | ⑭ 電源スイッチ(ON/USB出力/OFF) |
| ⑦ バックライトディスプレイ | ⑮ サイレンON/OFFスイッチ |
| ⑧ 選局ダイヤル | ⑯ USB出力端子 |

- ⑰ FMロッドアンテナ
- ⑱ デスクスタンド
- ⑲ 電池BOX



3. 付属品名称

- 携帯電話充電USBケーブル
対応機種
○アンドロイド
・マイクロUSB
・USB Type-C
※表記の社名または商品名は、
各社の商標・登録商標です。
- 簡易ランタンシェード
- 取扱説明書/保証書(本書)

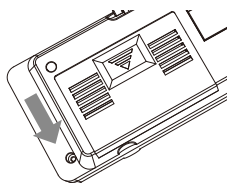


4. 電 源

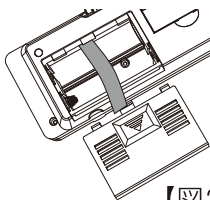
単3乾電池×3本(別売)

5. 乾電池の入れ方

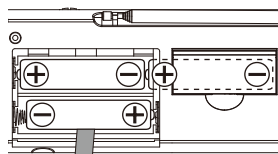
1. ⑨電池BOXのフタに表示の矢印(▼)を押しながら下方方向にスライドさせてフタを取り外してください。【図1】【図2】
※フタは取り外し式です。紛失をしないようご注意ください。
2. 図のように単3乾電池3本を、方向を間違えずに正しく入れてください。【図3】
※バネがある方が乾電池のマイナス側になります。マイナス側から入れてください。
※上部のBOXに乾電池が2本入ります。1本を奥に入れてください。(マイナスが奥になる様に入れてください。)
※乾電池のプラスとマイナスを間違わないように入れてください。
※⑨電池BOXに乾電池の取り出しベロを取り付けています。後方に巻いて乾電池を入れると取り出す時に便利です。
3. ⑨電池BOXのフタを閉めてください。



【図1】



【図2】



【図3】



注意

- ※乾電池は古いものと新しいものを混ぜたりしないでください。
- ※アルカリ電池とマンガン電池を混ぜて使用しないでください。
- ※長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置すると、液漏れ、腐食、発火、故障の原因となります。
- ※乾電池が液漏れをおこした場合、手で触らないようにしてください。
- ※乾電池より液漏れをした液体が目に入った場合、医師の指示に従ってください。
- ※乾電池より液漏れをした液体が皮膚にふれたりした場合、水などで洗い流してください。
- ※皮膚に異常が発生したときは医師の指示に従ってください。
- ※スマホ充電やライト使用中に乾電池が熱くなる場合がありますが異常ではありません。

6. バックライトディスプレイ(液晶画面)

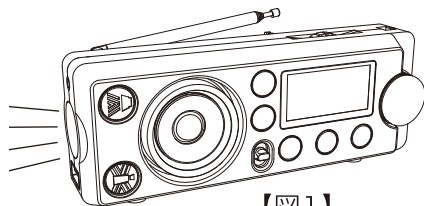
1. ⑭電源スイッチ(ON/USB出力/OFF)をOFFからONに切り換えてください。ONにすると約2・3秒後に⑦バックライトディスプレイが時計モードで起動いたします。
2. LEDライト、ラジオ、サイレンスイッチ等を押すとバックライトディスプレイが点灯します。
※バックライトは約20秒間点灯いたします。
※時計とラジオの周波数が表示いたします。

7. 時計の合わせ方

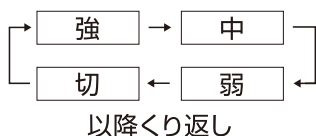
1. 乾電池を入れ、⑭電源スイッチ(ON/USB出力/OFF)をOFFからONに切り換えると⑦バックライトディスプレイに時計の表示が開始いたします。【0:00】(:が点滅表示いたします。)
2. ⑬時間設定ボタンを3・4秒長押しすると時計モードの時間が点滅し、バックライトが点灯いたします。時間が7・8秒点滅します。
3. 「時間」を合わせます。
⑫▲CH+もしくは⑪▼CH-スイッチのどちらかを押すか長押しをして「時間」を合わせて、⑬時間設定スイッチを押してください。「分」が点滅いたします。
4. 「分」を合わせます。
「分」が点滅中に⑫▲CH+もしくは⑪▼CH-スイッチを押して「分」を合わせてください。
5. 12H(12時間表示)か24H(24時間表示)を設定します。もう一度⑬時間設定スイッチを押すと24H(24時間表示)と表示されます。
(時計表示の12時間表示(AM/FM)か24時間表示(0:00～23:59)を合わせます。)
⑫▲CH+か⑪▼CH-スイッチを押すと12Hと24Hが点滅しますので、お好みの時間を合わせてください。
※12Hを選択した場合は、午前中は画面左上にAMが表示され、午後は画面左上にPMが表示されます。
※24Hを選択した場合は、時間が0から23時が表示されます。
6. 最後に⑬時間設定ボタンを押すか、点滅が消えるまで放置することで終了になります。
※⑦バックライトディスプレイが時計モード時に⑤ラジオ電源ON/OFFスイッチを押すとラジオが鳴ります。

8. LEDライトを使うには

1. 電源は乾電池で使用します。
※乾電池の入れ方に関しては前記の5(4頁)を参照ください。
2. ⑭電源スイッチ(ON/USB出力/OFF)をOFFからONに切り換えてください。
3. ③LEDライトON/OFFスイッチを1回押すと①LEDライトが強モードで点灯します。もう一度押すと①LEDライトが中モードで点灯します。さらにもう一度押すと弱モードで点灯します。
【図1】
4. もう一度押すと①LEDライトが切れます。以降、強・中・弱点灯と切のくり返しになります。【図2】



【図1】



【図2】

※①LEDライトの電球交換はできません。(寿命約4万～5万時間)

※LEDライト点灯中でも、ラジオの併用が出来ます。

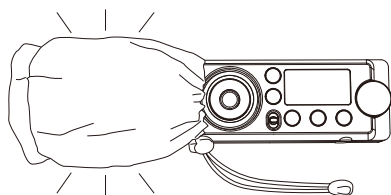
※LEDライト点灯中に、サイレンボタンを押すとサイレンが鳴り、LEDライトが点滅いたします。⑩ラジオ/サイレン音量ダイヤルを反時計回りに回してください。サイレン音が大きくなります。



①LEDライトが点灯している間は、光を直視しないでください。視力障害の原因となります。

簡易ランタンシェードについて

付属品の簡易ランタンシェードを図のようにかぶせるとランタンになり、デスク周りを明るく照らすことができます。【図3】



【図3】

9. ラジオ(AM/FM/ワイドFM)を使うには

- AM周波数:522~1629kHz

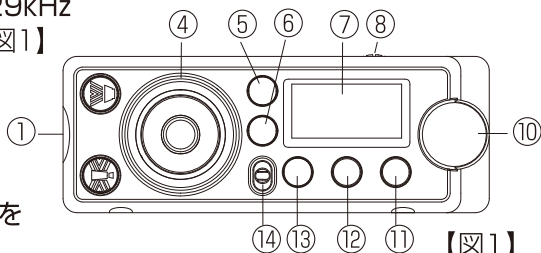
の表示内で受信可能。【図1】

- FM/ワイドFM周波数:

76.0~108.0MHzの

表示内で受信可能。

- ⑭電源スイッチ(OFF/
USB出力/ON)スイッチを
ONにしてください。



【図1】

1. ⑤ラジオ電源ON/OFFスイッチを押すとラジオが鳴ります。
※ラジオの電源が入ると⑦バックライトディスプレイの時計表示からラジオの周波数表示に変わります。
2. ⑥FM/AM/スキャンボタンでAMかFMを選択します。
※④電源スイッチを「AM」か「FM」のお聴きになりたいバンドにスライドさせてください。
(AMかFMの表示が画面左上に表示されます。)
AM表示(522~1629kHz) FM表示(76.0~108.0MHz)
※放送局の受信は10(8,9項)のラジオの周波数の登録の欄をご覧ください。
3. ⑩ラジオ/サイレン音量ダイヤルを反時計回りに回すと④スピーカーから音が鳴り、音声が大きくなります。適当な音量に調整してください。時計回りに回すと音が小さくなります。
※ラジオの音量を上げるときは、徐々に上げてください。大きな音は聴力障害となる恐れがあります。
4. ラジオを切る時は⑤ラジオ電源ON/OFFスイッチを押すとラジオが切れ、時計モードに変わります。
※ラジオの音量の音を小さくしただけでは電源が入ったままになり、電池容量が消費いたします。必ず、⑤ラジオ電源スイッチでラジオを切ってください。
※ラジオ電波はその特性上、場所によって受信しにくい場合があります。その際は本体の向きを変えたり、窓側に行ったりしてなるべく電波の受信状況の良い場所を選んで使用してください。ご使用の地域によって電波が受信しにくい場所がありますので、あらかじめご了承ください。
※AM放送をお聴きの時は本体の方向を変えて、最も受信感度の良い状態でお楽しみ下さい。又、FM放送をお聴きの時は、

⑰FMロッドアンテナを動かして感度の良い状態でお楽しみください。

※ラジオ使用中でも、LEDライトの併用が出来ます。

※ラジオ使用中に、サイレンボタンを押すとサイレンが鳴りLEDライトは点滅いたします。

5.お手持ちのイヤホンを②イヤホンジャックに差し込むとラジオ音声スピーカーより消え、イヤホンからラジオ音声が聴けます。



注意

ラジオの音量の調整にご注意ください。音量ダイヤルを急激に回したり、大きな音量で聴かないようにしてください。

大きな音は聴力障害などの原因となるおそれがありますので、絶対におやめください。

イヤホン装着時の注意: ラジオをイヤホンで聴いている時、⑮サイレンON/OFFスイッチを押すとサイレン音がイヤホンから鳴ります。サイレンを使用する際には必ずイヤホンをイヤホン端子から抜き取ってください。イヤホンをつけたままサイレンを聞くと聴力障害などの原因になる恐れがありますので、絶対におやめください。

10. ラジオの周波数の登録

放送局の周波数をあらかじめ本機に登録することができます。

AM…10局

FM…20局

ATS機能について

ATSとは、オートチューニングセットの略で、現在地で聞けるラジオ局を自動で探し、そのまま本体メモリー登録してくれる機能です。

※登録はAMとFMそれぞれ行う必要があり、登録方法は自動受信で行います。

1. 自動受信

※自動受信はAM/FMの両方の放送局の設定が可能です。ラジオがONの状態⑰で⑲時間設定/ATSボタンを3・4秒長押しすると数字が進み、ラジオをご利用の地域の放送局を自動受信し、登録を行います。P01から順番に登録が始まります。

※お使いの地域で受信可能な放送局を順次設定し、自動受信が終了すれば最初に設定された放送局(P01)に戻り放送が開始されます。

2. 手動受信

1. ⑧選局ダイヤルを回すと⑦バックライトディスプレイの「周波数」が動きます。お聴きになりたい放送局に合わせてください。(放送局の数字が変更します。ご使用の地域の放送局を受信するとラジオが鳴ります。⑩音量ダイヤルで適音に合わせてください。)

スキャン機能について

⑥ラジオ使用中、AM/FM切換スイッチ/スキャンスイッチの下半分のスキャン部分を2・3秒長押しすると、自動受信で登録したご使用の地域のAM放送局とFM放送局のそれぞれお聴きの放送局の周波数からダイヤル数字の若い放送局から順番に受信をいたします。

※スキャンで周波数の数字が移動中に⑬ATSボタンを押すと途中で止まりキャンセルされます。

11. サイレンを使うには

1. ⑮サイレンボタンを押し、⑩ラジオ/サイレン音量ダイヤルを反時計回りに回すとサイレンが④スピーカーから鳴ります。更にダイヤルを回すとサイレン音が大きくなります。
2. サイレンが鳴っている間は①LEDライトが点滅します。
3. サイレンを止める場合は⑮サイレンボタンを押してください。

12. イヤホンを使用するには

- ※イヤホンは付属していません。お手持ちの3.5mmプラグのイヤホンをご利用ください。
- ※お手持ちのイヤホンを利用して、⑭スピーカーから音を消して、イヤホンだけでラジオ放送をお楽しみになれます。
- ※イヤホンの先端プラグを⑫イヤホン端子に差し込んでください。あとは前記のラジオの使い方をご覧ください。



注意

イヤホン装着時の注意: ラジオをイヤホンで聴いている時、**⑮**サイレンON/OFFスイッチを押すとサイレン音がイヤホンから鳴ります。サイレンを使用するには必ずイヤホンをイヤホン端子から抜き取ってください。イヤホンをつけたままサイレンを聞くと聴力障害などの原因になる怖れがありますので、絶対おやめください。

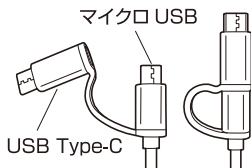
13. 携帯電話充電USBケーブルについて

接続方法: マイクロUSB の上に Type-C をかぶせてください。

対応機種: アンドロイド (USB Type-C マイクロUSB)

◎携帯電話の充電に使用します。

※携帯電話の充電につきましては、後記の14 (11、12、13、14頁) をそれぞれ参照ください。



注意

使用上のご注意

火傷や火災の原因となりますので、以下の事は絶対におこなわないでください。

※コネクタおよびケーブルを加工、分解する事、ケーブルを引っ張ったり、無理な力をかけたり、曲げたりケーブル上に物を置く事。電極部分が結露した状態や、水分や異物がついた状態で使用する事。

※ケーブルを抜き差しするときは必ずコネクタ部分を持っておこなってください。

※熱のこもる場所(ポケットやバッグの中、布団の中など)で使用しないでください。

※濡れた手で使用しないでください。

※本ケーブルは充電用です

※水気のある所、高温多湿の場所、ホコリの多い場所などでは使用しないでください。

※乳幼児の手の届かないところに保管してください。

※充電中に異常を感じた際には、すぐに使用を中止し弊社までご連絡ください。

※マイクロUSBコネクタを使用される場合、表/裏にご注意ください。

一方で入らない時は、逆向きにしてさし込んでください。

※コネクタをさし込む時はまっすぐに入れてください。また抜く時もまっすぐに抜いてください。

※マイクロUSBコネクタの金属の接合部分が半分入れれば接続できています。

※形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。

※携帯電話にケース等をしたまま充電動作をした場合、ケースの形状によっては上記コネクタのさし込みが不十分であったり、正しくさし込みができない場合がありますので予めご了承ください。(ケースを外せば正しく装着することが出来ます)

※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

14. 携帯電話を充電するには(プラグイン携帯電話充電機能)

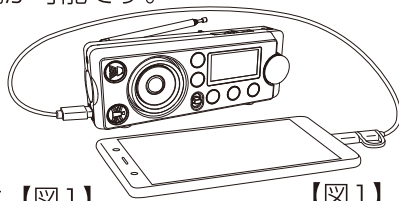
※通常はお客様のお手持ちの専用充電機でお願いします。

※携帯電話への充電は緊急時の一時的な補充として、他に方法がない場合に備えたものです。あらかじめご了承ください。

1. 携帯電話の充電は下記の条件で充電が可能です。

※アルカリ乾電池からの充電。

2. お手持ちの携帯電話の接続端子に合わせてコネクターをお選びください。携帯電話充電USBケーブルのもう一方のプラグを⑬携帯電話充電端子(USB出力)に差し込みます。【図1】



※形状の異なるコネクターを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。

※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

乾電池(アルカリ電池)より携帯電話を充電する方法

※使用する乾電池は必ず新品のアルカリ電池をご使用ください。マンガン電池では充電できません。

※本体に乾電池を入れる場合、前記の5. 乾電池の入れ方(4頁)を参照してください。

1. ④機能切換スイッチ(ON/USB出力/OFF)を「USB出力」に合わせてください。

2. 乾電池の電力で携帯電話本体が充電中の状態になりますので確認してください。

※乾電池で携帯電話の充電中はLEDライト、ラジオ、サイレンは使用出来ません。

3. 充電を停止する時は、⑭電源スイッチ(ON/USB出力/OFF)を「OFF」の位置に合わせてください。



●アルカリ乾電池より携帯電話を充電した場合、アルカリ乾電池が熱くなります。充電中もしくは充電直後はアルカリ乾電池を絶対にさわらないようにしてください。火傷をする恐れがあります。

●充電終了後15分程度は乾電池に触らないでください。

●更に充電をつぎ足したい場合は、新しいアルカリ乾電池をご使用ください。

- 携帯電話の充電を行うと時計がリセットされます。時間の初期モードの【0:00】表示になります。携帯電話の充電後は時間を再セットしてください。
※時計の合わせ方に関しては、前記の7(5項)を参照してください。

 **注意** ○適合機種について

- PHSには充電できません。
- 市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- 海外製の機種にはお使いになれません。
- 充電開始後すぐに「警告」や「充電をやめてください」というような表示がでてくる場合もあります。その際はすぐに充電をやめてください。故障の原因となります。
- 充電ができない場合は、当社窓口にご相談ください。
- タブレットシリーズへの充電はできません。

携帯電話充電の際の安全上のご注意



注意

メモリー消失に注意!

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが、突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法(バックアップ等)で控えをとっておくことを強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上、お使いください。

普段の充電は純正充電器で…

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご利用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いいただきますようお願い申し上げます。

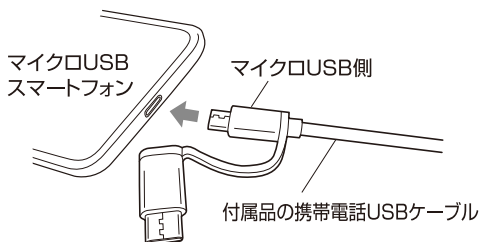
最近のスマートフォン、アイフォーンの場合、内蔵のバッテリー容量が大きくなっているため、機種により充電効率はかなり低下します。あらかじめご了承ください。

◎マイクロUSBとType-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法。

※お手持ちのスマートフォンがマイクロUSB接続端子の場合

付属品の携帯電話充電USBケーブルのマイクロUSB側を差し込んでください。【図1】

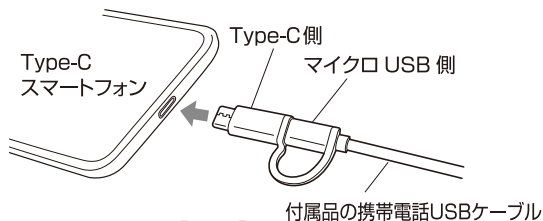
※マイクロUSB側を使用される場合、表/裏にご注意ください。一方で入らない場合は逆にしてみてください。



【図1】

※お手持ちのスマートフォンがType-C接続端子の場合

付属品の携帯電話充電USBケーブルのマイクロUSBの先にType-Cを取り付けて、Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)に差し込んでください。【図2】



【図2】

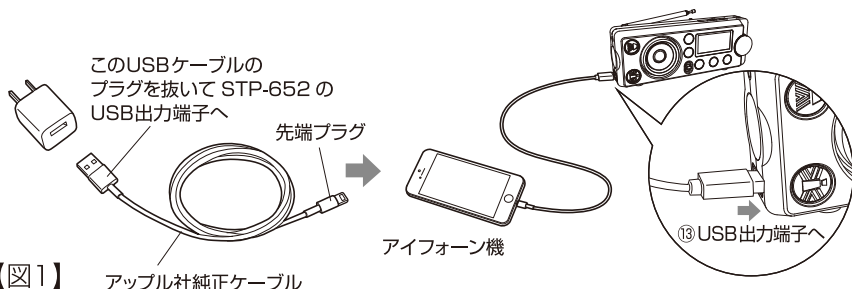
※乾電池からの充電方法につきましては、前記の12(10頁)をそれぞれ参照ください。

◎iPhoneを充電する方法。

※iPhone用コネクタ(ライトニングタイプ)は付属していません。

アップル社純正のUSBケーブルを使用する。

アップル社の純正のケーブルをご使用ください。(純正ケーブルのUSBプラグを本体の⑬携帯電話充電端子(USB出力端子)に差し込み、ケーブルの反対側の先端プラグをお手持ちのiPhone機に差し込んでください。)【図1】

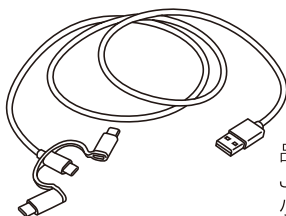


アップル社純正ケーブルのプラグのUSB部分がUSB-C(Type-C)の場合
市販のマイクロUSBからライトニングへの変換アダプターをお買い求めいただき、付属の携帯電話充電USBケーブルのマイクロUSB側に接続させて使用してください。(もしくは同等規格品をお持ちの場合は、そのままご利用可能です。)

アップル社正規認証3in1ライトニングケーブルについて

弊社ではアップル社正規認証ライトニングコネクタとUSB Type-C、マイクロUSBの付いた3in1ライトニングケーブルを別途お買い求めいただけます。このケーブル1本でほとんどのスマホに対応しています。アップル社正規認証を獲得していますのでiOSのアップデートにも対応しています。

データ通信の規格は、USB2.0規格準拠となります。ライトニング接続時は、最大2.4A出力が可能です。(ただし、出力側の機器が対応している必要があります。)
※USB PDには非対応



Made for
iPhone | iPad | iPod

品番: 5870
JAN: 4511793007870
小売価格: ¥2,500(税別)

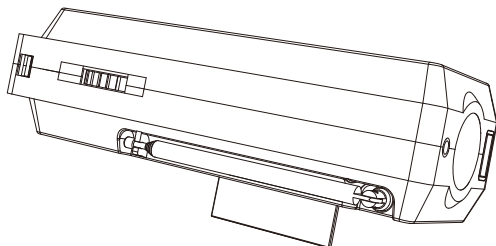
⑨ストラップホールについて

⑨ストラップホールにお手持ちのストラップを取り付けることができます。

※手首に通してお使いになれば誤って手をすべらしたり、手を放してしまっても本機を落とす心配がありません。

⑩デスクスタンドについて

本体裏面に⑩デスクスタンドが収納しています。デスク上で使う時はこのスタンドを引き出してデスクに置くと操作しやすくなります。



○仕 様

- ・LEDライト：白色LED1灯：(強・中・弱)
- ・ランタン：簡易ランタンシェード使用時
- ・受信周波数：AM:522～1629kHz
(ラジオ) FM/ワイドFM:76.0～108.0MHz
- ・アンテナ：FM/ロッドアンテナ AM/内蔵フェライトバー
- ・電 源：単3乾電池×3本(別売)
- ・付 属 品：携帯電話充電USBケーブル
対応機種
○アンドロイド
 - ・マイクロUSB
 - ・USB Type-C簡易ランタンシェード
取扱説明書/保証書(本書)
- ・イヤホンジャック：3.5mmジャック イヤホン(別売)
- ・本体寸法：150×42×55mm
- ・本体材質：ABS樹脂、他
- ・使用温度：-10～40℃



※商品改良のため、予告なく商品の仕様が変更されることがあります。
※説明書本文に記載の社名や商品名・固有名詞は、各社の商標または登録商標です。